



環境工学講座

講師

はた あき ひこ  
端 昭 彦

(1985 生)

博士 (工学)

(東京大学・平 25)

■経 歴

東京大学工学部都市工学科卒 (平 20.3) 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士前期課程修了 (平 22.3) 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士後期課程修了 (平 25.3) 日本学術振興会特別研究員 (PD) (平 25.4 ~ 平 29.3) / 東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構特任助教 (平 29.4 ~ 29.9) / 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻特任助教 (平 29.10 ~ 平 31.3)

**担当科目** 環境リスク工学 / 水質工学 2 / 環境質評価学 / 環境工学実験 / 環境リスク管理工学 (大学院)

**専門分野** 環境工学 / 健康関連微生物

**論文・報告**

「水試料からのウイルス検出に関わる阻害物質の特性評価及び除去手法の構築」(学位論文)

「Next-generation amplicon sequencing identifies genetically diverse human astroviruses, including recombinant strains, in environmental waters」(Scientific Reports, 2018)

「A review on recent progress in the detection methods and prevalence of human enteric viruses in water」(Water Research, 2018)

「Risk management of viral infectious diseases in wastewater reclamation and reuse: Review」(Review. Environ International. 2016)

**所属学会** 日本水環境学会 / 土木学会 / 日本水処理生物学会 / International Water Association

**学会委員等** Vice Secretary, The Water Environment Technology Conference

**学外活動** 日本水環境学会 博士研究奨励賞 (オルガノ賞) (平 24. 9)  
第 49 回環境工学研究フォーラム 論文奨励賞 (平 24. 11)

■現在の研究課題

1. 水中の腸管系ウイルスの動態解明  
都市水環境において、ノロウイルス等の腸管系ウイルスの存在状況及び健康リスクに関する調査研究.
2. 清澄水試料中のウイルス検出手法の開発  
浄水等、高い水質が要求される水について、ウイルスの存否を確かめるための手法の開発.

■共同研究キーワード

腸管系ウイルス / 健康関連微生物